

19m02教育方法論m 解答例

近代学校制度と授業の成立

教育方法論 m 第 2 回

テーマ「近代学校制度と授業の成立」

(1) 「新しい時代の教育方法」から

全体の要点●前近代の教育方法から近世の教育方法へ変化していく中で、日本の江戸時代の寺子屋から徐々に明治時代の集団的な学校へと変化した。こうした中で、教育方法や特徴、人物などに注目する。

- ポイント 1)前近代の教育方法について。3R's(read、writing、arithmetic)。寺子屋。武士と庶民の教育。
- 2)西洋式教育方法の導入。学制の特徴、教師や授業の変化。
- 3)近世教育方法。連続・非連続性について。
- 4)ペスタロッチ主義教授法の受容。開発主義教授法。

(2) ネット資料「我が国の学校教育制度の歴史について」から

全体の要点●江戸時代においては、寺子屋が各地で開かれており、読み書き計算などが出来るように訓練された。また、幕末から明治時代初期にかけて西洋式の教育方法が導入されて、様々な語学、文化などが取り入れられた。

- ポイント 1)江戸時代における寺子屋の仕組みと働き。
- 2)幕末へと変化していく学びの体制。
- 3)明治時代における学制の実施と様々な取り組み。
- 4)近代教育における授業の変化。

(3) その他のネット資料「学制と義務教育制度」から

全体の要点●江戸時代における寺子屋の私塾での高水準な教育が、明治維新後の急激な近代を支える大きな原因となった。学制では、フランスをモデルに制度化された。

- ポイント 1) 庶民対象に寺子屋が存在していたことが明治維新後の急激な近代化を可能にした最大の原因。
- 2) 全国を学区に分けていくということで、学校を全国に均等に設置していくという発想に基づいているのであり、子どもたちが自分の住んでいる地域（近く）の学校に通えるようにした。
- 3)授業料の徴収による、庶民の反発も頻繁に起った。
- 4)教育令や教育勅語が発令されことで、教育の近代化へと歩み始めた。

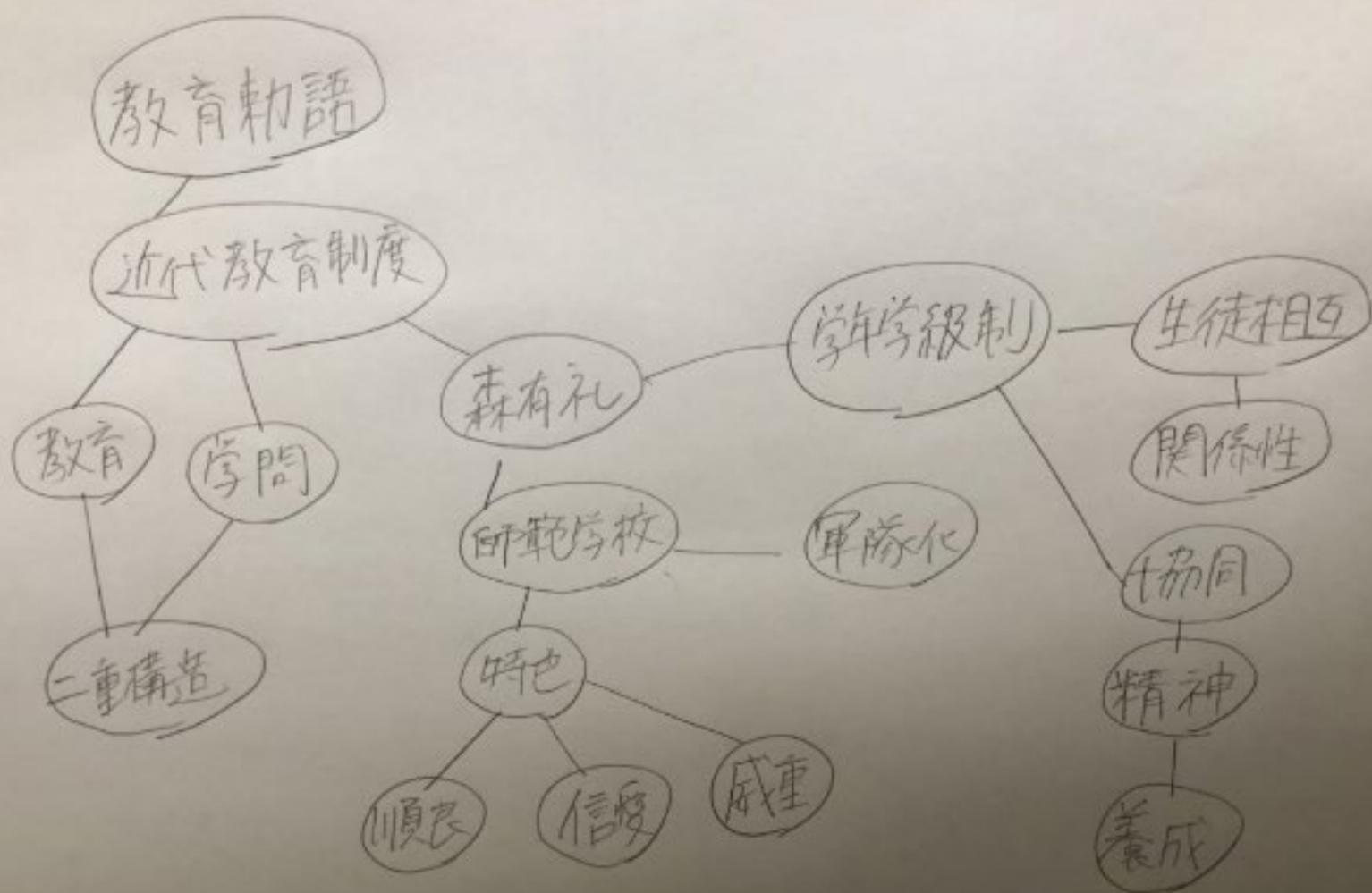
(4) 自分の意見

全体の要点●江戸時代の鎖国体制下の中で、寺子屋における教育組織は高水準なものであり、その後続く明治維新への近代化の大きな基礎となった。また、近代化においても西洋文化を取り入れて様々な思想がうまれた。

- ポイント 1)寺子屋に高水準な教育。
- 2)明治維新における大きな基礎となった。
- 3)明治時代における教育の近代化の歩み。西洋式の教育方法の導入。
- 4)そこからうまれた様々な思想、教育概念などの誕生。

(5) 出典(文献名、url 等)

- (1) https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/pdf/kenkyu_01.pdf
- (2) <http://sugp.wakasato.jp/Material/Education/el/e04b1/class09/gakusei.htm>
- (3)



授業の定型化

教育方法論 m 第2回

テーマ「ICT 活用例」

(1) 「2-2 授業の定型化」から
全体の要点● 学年制までの流れ

ポイント 1 「教育ニ関スル勅語」の発布で教育の基本理念と実践徳目が表示される
2) 固定教科書制度で国民共通の文化と道徳を徹底
3) ヘルバルト主義教育学の導入 ← 個人主義
4) 学年制・学級

(2) 「17 中学校学習指導要領解説」「18 高等学校学習指導要領解説」等から
全体の要点● カリキュラム・マネジメントを促し、授業を安定化させる

ポイント 1) 産業・工業・社会の発展・変化
2) 子供もその変化に対応しなくてはならない
3) 「生きる力」を育む。「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」
4) そのために、カリキュラム・マネジメントを促す

(3) その他のネット資料から長所・短所
全体の要点● 学級（現存も含む）について

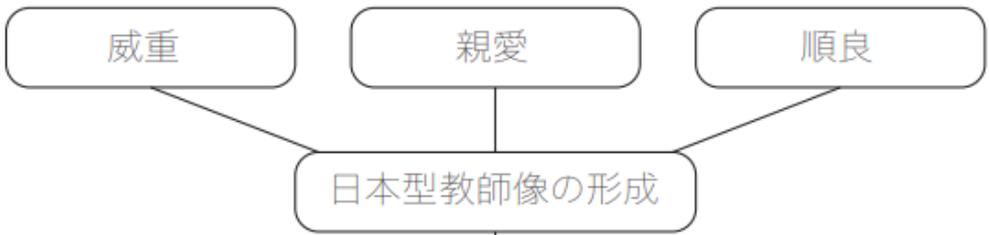
ポイント 1) 学級制が採用されたため、今日という学級は成立しては来なかった
2) 個々の能力や個性を伸ばしては来なかった
3) 新しい人間関係を作り上げる機会が少ない
4) 児童・教師の関係が深まりやすい

(4) 自分の意見
全体の要点● 今までの積み重ねから授業の安定化へ

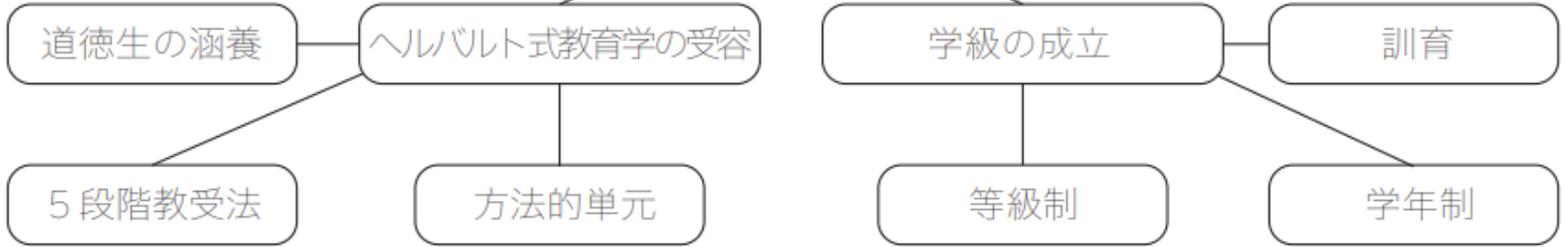
ポイント 1) 教育の始まりは「教育ニ関スル勅語」の発布
2) 学年制・学級の制度が今の学級の元
3) カリキュラム化することで授業を安定化
4) 現存も教育は変化している

(5) 出典(文献名、url 等)

- (1) 文部科学省(2017). 「中学校学習指導要領解説」. pp.1-6.
- (2) 文部科学省(2018). 「高等学校学習指導要領解説」. pp.1-6.
- (3) <https://www.jrc.sophia.ac.jp/uploads/2015/09/29/b40364669f9265666796909455f9c0c.pdf>



授業の定型化



授業改造の試み

教育方法論 第2回 テーマ「授業改造の試み」

(1) 「新しい時代の教育方法」より

戦後の教育では一部の私立公立学校でそれぞれの教員がこれまでの授業体系から生徒の学習サポートとなることを様々な思想ありきで考え、研究し実践を行ってきた。これらが全国に広まり当時の教師の立場・役割を理解させるきっかけになった。

ポイント)

- ・これまでの主義的な教育方法を批判し、子どもの個性・自発性を尊重
- ・一部の私立小学校では4つの方針を掲げユニークな実践を展開し、公立小学校では「子どもの個性に応じた発達」を課題として独自の教育実践を展開した
- ・「分団式動的教育法」という分団式教育と生活単元という2つの思想から人生の考察を教育に取り込めないか考えた
- ・学習指導要領が試案から変更となり法的拘束を持つようになった

(2) 「17 中学校学習指導要領解説」「18 高等学校学習指導要領解説」等から

学習指導要領では現代なりの試みで各学校に授業を編成するようしており、その内容として社会性、人間性などを各教科に特色として盛り込むようになっている。

ポイント)

- ・「生きる力」から三つの柱を踏まえ、育成を目指す資質・能力の指導の狙いを明確にする
- ・学校と地域が連携し、文化に触れあうことで人間性を育む
- ・これまでの受動的教育から主体的教育に変化させることで、バランスの取れた「生きる力」を育める

(3) ネット資料から(長所・短所等)

問題解決を重視している今日では、今までの一方的教授するだけでなく教員が科学の実験のように過程を踏んで、授業スタイルを確立していかないといけない。またその上で生徒(児童)に疑問・問題を持たせその上で一つの授業を展開していくべきである。

ポイント)

- ・単に知識を増やすだけでなく、生きる力の育成を重視
- ・問題解決学習は、生徒自身が自然・社会から物事・現象から認識させるべきである
- ・生徒(児童)、教師、教材の3つが成り立つことによって成立
- ・生徒に問題解決させる上で、教師も問題解決を実践していかないと授業のデザインが成り立たない

(4) 自分の意見

生徒たちの個性を伸ばしたりするには、まず問題に疑問を持たせた上でその疑問を解決できるように情報機器等も使いながら授業を繰り返していくうちに解決できるように教員は改善していくべきである。

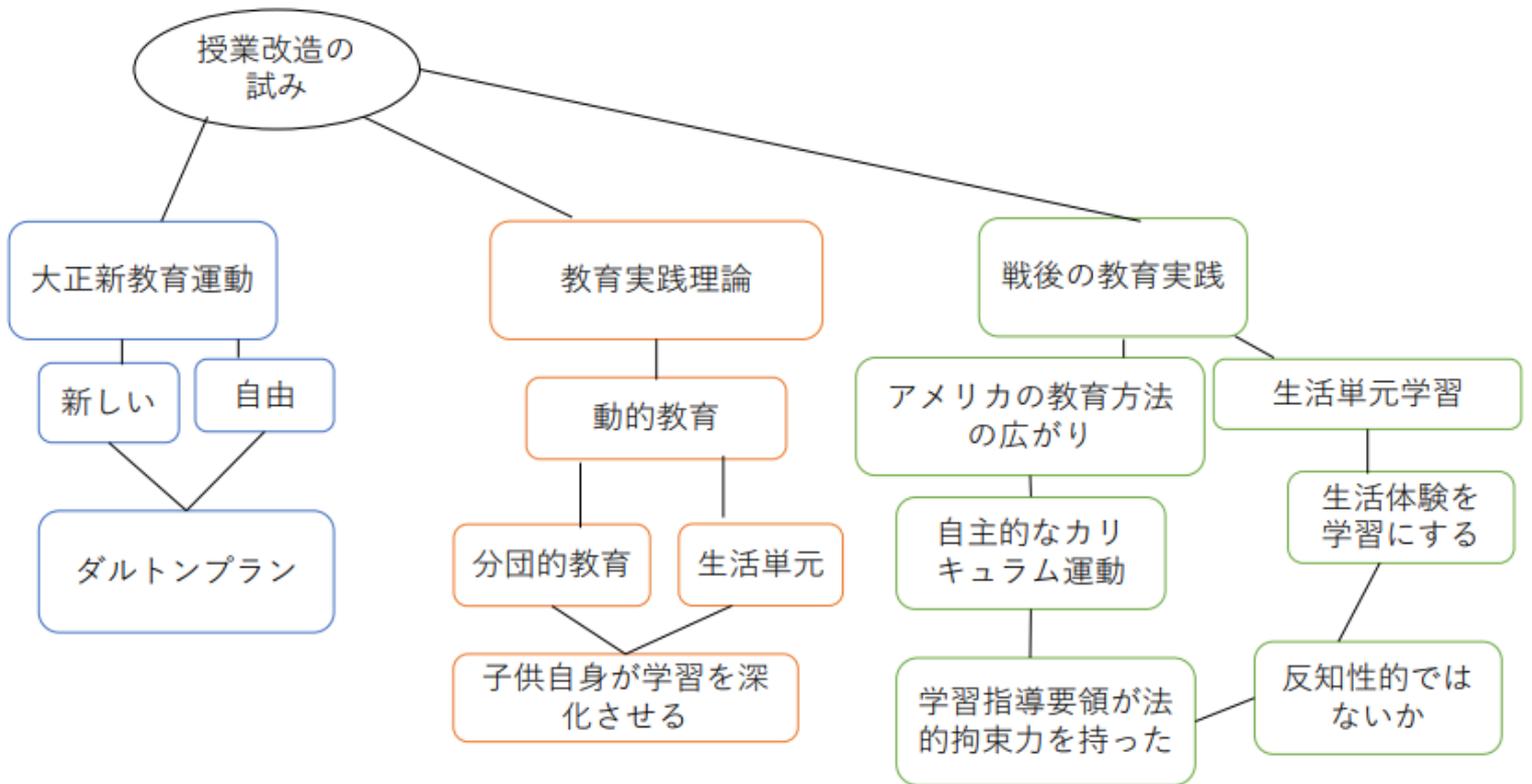
ポイント)

- ・教師がどのような授業をしていくのかを構想するのは必要なことだが、それが生徒にマッチするのかを実践して改善をしていく
- ・生徒たちの個性を引き出す授業を教員は考えるべきである
- ・ICTを導入するのは良いがこれだけでは生徒たちの能力等は育めない

(5) 出典 (参考文献、URL 等)

- ・新しい時代の教育方法
- ・文部科学省(2017). 「中学校学習指導要領解説」 pp.17 ~ pp.39
- ・文部科学省(2018). 「高等学校学習指導要領解説」 pp.20 ~ pp.45
- ・提言 32：問題解決の授業をデザインしよう！ - 東京都教育会

(URL : <http://www.t-kyoikukai.org/teigen/teigen32.html> 2019/09/29 観覧)



ICT活用例

ICT活用例

1. 単元 生物分野 植物の体のつくりとはたして

2. テーマ 根・茎・葉の細胞を観察しよう。

3. ICT活用のねらい

- ・スケッチの時短
- ・教科書のイラストと実物との比較
- ・より効率のよい観察と発見
- ・解説・説明のしやすさの向上

4. ICT活用例

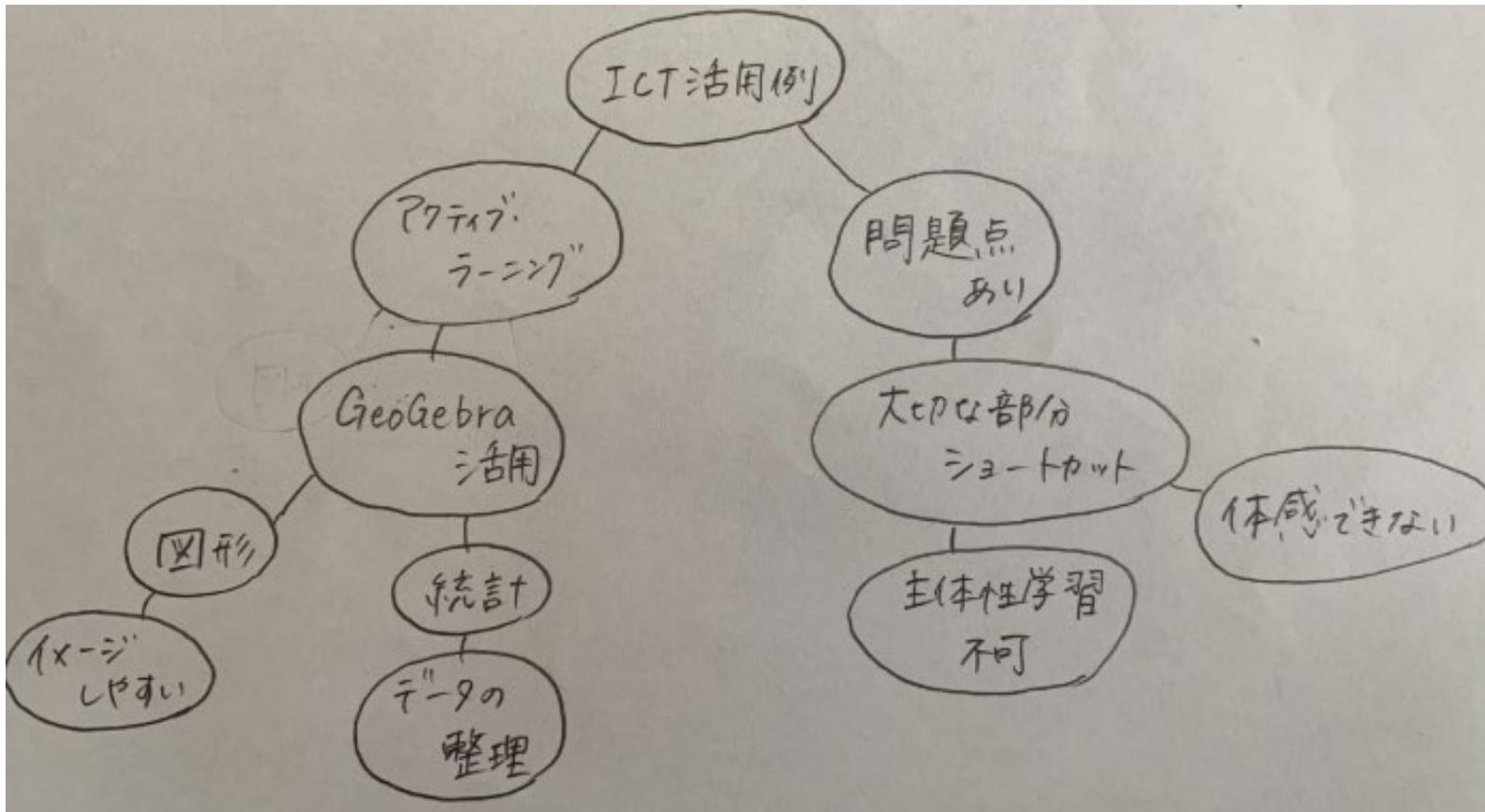
学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
ICT活用場面 生物分野 植物等の観察	ICT活用の手順(イメージなど) 植物の根・茎・葉を顕微鏡で観察できるように、フレイパートを作成する。	刃物を使用するので安全面に配慮する。
他グループのフレイパートの比較、細胞の大きさ、数等の観察。電子黒板を用いることで、細胞に印を入れられるので、効率よく観察できる。	↓ 顕微鏡での観察 対象物の映像の撮映を行う。	顕微鏡の取り扱いに注意する。
※観察対象によっては、細胞分裂の様子も観察できる。	↓ 撮映した映画を用いて、各器官の説明を行ったり、生徒に観察して気づいたことを討論させる。+フレイパートの評価。	作業行程を顧みず、改善点を述べる。 生徒の観察を怠らない。
	↓ よく撮れたものを生徒に配布して、写真に各器官の名前を書き込んでもらう。	

備考

準備物... (中学校)理科の教科書、顕微鏡、フレイパート、スライドガラス、オナモミ

授業形態と工夫... 実験室において、タブレットと同期している電子黒板でのリアルタイム授業

ICT活用例



確認問題01

教育方法論 m

第 1 回

確認問題 01

(1) 現実の学校は何によって設立されたか。

近代国家によって設立

(2) 次の空欄を埋めよ。

学力と集団と発達保障とは、
学力の「格差」や「病める学力」に
取り組む中で、本物の学力を全ての子供たちに
身につけさせること。

暴力や「いじめ」、不登校に現れる
子どもたちの「心と生活」をめぐる問題状況に
直面して、豊かな集団による「自己肯定感」
や自治能力の形成をめざすこと。

「障害児教育」から提起された発達保障に
取り組むこと。

(3) 「授業研究」には、どんな課題が凝縮されて
取組まれてゆくべきか。3つ述べよ。

- 学力と集団(自治)と発達の保障
- 教育と生活の結合
- 教育と科学の結合

(4) 教育方法の学に流れるエスプリを構成する3つ
の要素をあげ、そのうち1つについて簡潔に説明
せよ。

- リアリズム
- ヒューマニズム
- ロマンチズム

ヒューマニズムとは、差別や分断に対する向かい、
弱者目線からの教育実践のあり方から教育的
価値の源泉を見出そうとした。

また授業でつまづくことは生徒、教師の両者から
忌め嫌うという考えから、つまづくに向き合い新知
構想を見出し、豊かにしていくという「つまづきを
活かす授業」という思想であること。

リアリズム・・・教育実践の現場に足を運び、子供
たちや教師たちとともに、さらには保護者や地域
の人々ともに教育の方法を考える

ロマンチズム・・・教育問題の現実に立脚して、さ
らにはその現実を突き抜けようとする意欲と展望
をもつこと。

**) 確認問題 01 を自己評価し、

気づいたこと、感じたことをのべよ

■ 5段階自己評価 (3)

■ 現代の教育方法論は、エスプリの3つの
要素から始まり、「授業研究」の課題を解
決していくということをもとに確立してきた
ものであると分かった。

だが、現代なりの課題があるというこ
とも感じた。

